

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市体育館	評価対象年度	平成20年度
事業者名	スポーツ施設管理運営体協グループ <構成団体> ・財団法人川崎市体育協会 ・JFEアーバンプラス株式会社 ・株式会社横浜アーチスト	評価者	スポーツ課長
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日	所管課	教育委員会生涯学習部スポーツ課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	10,821	13,076	12,750	12,397	9,217	12,637	15,782	14,091	12,470	10,631	12,991	13,728	150,591
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費		70,000									
		利用料金収入		22,391									
		事業収入他		5,030									
		収入計		97,421									
	支出	管理運営費		86,357									
		事業費		3,667									
	支出計		90,024										
	収支差額		7,397										
サービス向上の取組	<p>開館時間の延長について可能な限り受け入れている。 利便性向上を図る割引サービスとして回数券(11枚セット:10枚分の料金)の設定を行っている。 共有スペースに掲示板を設置し、スポーツ情報や利用者等による情報の発信に活用し多くの団体に利用されている。 施設空き情報の表示等により利用促進を図っている。保育付き教室事業の実施や幼児の遊び場としてプレイルームの開放を行っている。 個人開放事業・教室等事業について、アンケート調査等を行い、利用者の要望を可能な限りプログラム計画に取り入れるよう努めている。 夏期に少年スポーツ教室を実施し多くの小学生の参加を得ている。専門医による健康相談も年間通して行っている。 スポーツ情報の提供をホームページや館内掲示板などを利用し提供している。スポーツドクターによる健康・体力相談窓口の設置や運動指導トレーナーによる健康体力改善トレーニング相談を実施している。 広報誌の年3回発行、インターネットホームページ、マスコミへの情報提供等により、事業内容や体育館情報の広報活動を積極的に行っている。また、近隣町内会へのポスター・チラシ等の配布・掲示も行っている。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	1	3	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	1	3	3
	(評価の理由) 事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 基本方針の具現化のため、「市民サービスの向上指針」を策定し、市民サービスの向上に努めている。 自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行うとともに、利用者アンケート等により意見・要望の事業への反映に努めている。				
管理業務の実施状況	維持管理	施設利用提供に支障をきたすこと無きよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	1	3	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	1	3	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	1	3	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	1	3	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	1	3	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	1	4	4
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	1	3	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	1	3	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	1	3	3
(評価の理由) 事業計画に基づいた管理業務の実施がなされている。 会議室のスポーツ利用への提供と施設空き情報の掲示により利用促進を図り、空き施設の利用団体が増加し、約9,000人の利用者増につながっており、利用促進の成果であると評価する。					

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	1	3	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか。	1	3	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	1	3	3
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	1	3	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	1	3	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	1	3	3
	広報活動	施設利用促進及び生涯スポーツ振興を図るための広報活動が成されているか。	1	3	3
(評価の理由) 事業計画に基づいた事業の実施がなされている。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	1	3	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	1	3	3
	(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。				

4. 総合評価

評価点合計	61	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A:90点以上 B:80点以上90点未満 C:60点以上80点未満 D:40点以上60点未満 E:40点未満

A:特に優れている B:優れている C:適正である D:改善が必要である E:問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果すよう努めている。
地域のスポーツ振興を担う施設として、スポーツ活動の場を提供するとともに、プログラムを含めた参加機会の提供、地域スポーツ活動の支援や意識啓発等に積極的に事業展開を図っている。
建設後50年以上を経過し老朽化した施設設備の安全性と利便性に配慮し修繕・更新などの維持管理に努めるとともに、利用者への適切な対応や快適な利用環境の整備に努めている。また、業務の効率化を図り開館日を増やし、市民の利用機会の拡充に努め、利便性の向上を図っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、幼児から高齢者まで市民誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康・体力の維持・増進やスポーツ活動の推進に努め、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。
また、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めること。
広報効果について自己モニタリングやアンケート等の検証や教室終了後の活動支援等についての検討、ボランティア登用の機会の拡大と活動の継続化・組織化等についての検討、指導者育成の充実に向けての検討・調整などに留意して管理運営を行うとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、地域との連携によるスポーツ振興事業のほか、地域の活性化、高齢化対応、子育て支援、障がい者スポーツ振興、健康都市づくりなどの行政課題の解決にも留意し、事業展開を図ること。